特別
へ13
3633
13

阿へ13
號3633
卷13

世事一場春夢
光陰百年
元宵一盞花月

昭和三十二年六月八日
宮川曼魚氏寄贈

叙

徒後漾ゝ仲叔ハ夢ヲ三
一日神夢。二日虚夢。三日正夢
所謂神夢ハ霊夢ヲ虚夢と
云ガ如ク正夢ヲ則正夢
ヨメリ。
又彼孟典ガ子ノ間ヲ三ツ秋ハ
ヨメ――那ヲ少ク少リの蔑

人五〇〇紀業ゞびの一呑ハ〇冷酒菓
酒ハ〇ハ小一杯〇〇〇又一杯和尚
日ハ之間書ぎも〇〇何の愛ばゆ
ゞ〇〇彼邪角ん小〇何ねどもの新
角ん〇〇〇〇〇すど〇〇〇〇〇〇
又独の脳乱〇〇〇〇〇〇〇〇
すゞきもハ〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇

社とかゝ〜る小ハ。赤ハ小ふくハ。そのゝ
ゝ〜ぐ〜ゝ〜ゝ〜ゝ〜ぞや。吾情ハ一の糸
ゝ〜ぐ〜し。ゝ〜ゝ小とかゝ〜ハ。ゝ〜ゝ〜ゝ〜ゝ〜
ゝ〜ゝ〜ゝ〜ゝ〜

標題

○ぬら川が密談　○ほさるれ狼
○不川のむぬぎ　○甲羅が勝月
○泉川の雪ぬぎ　○大門の放ま
○うつ鬼ゲ千疋大　○杉の井ゲ梅の蕊
○犬をうれ矢ぬ　○女奴の勝負ま

淫女皮肉論

深川が密談

時うち月の末五ごし中丁。入ふねはぐやぐすそつぎのうられめ。奥山の茶やふかつまる場ぐらんぐらくつて。

中丁アセ

假そめのあんもわるいど。僅かのうこもむくるゲ。大丈夫とこふりのと。ほるしのちりのちゃきっこゲそんち利かつそねひゲ。ぬんこ。

やくりずきのつくぐのちう

ハ只ぬ京

買女衛もあいやぬ

ふゝ川かめぐ〜そ。そをうて。ふゝのあるし。
ほぎのぼくわどあすくら(かしてやてふゝ)くるとく
り小犬とんで。ゑ丁まちく。ろりとろこさも。
ほぎうり屋のうきすまん。買女くとゝや
めて。猿ほうるゝ小ふすると。そ(こゝやどゝゆ)
小小ぼけてとあもひぐそ。ろちぐほの。の
おあるさん。ぼんゝぞ小虎て。ゑあとや
へ突ごゝて。ほ小(つき)(ほ小)ほ。ほのぐ。ほ小ぐ買女(だいよ)

ほのさまゝと。中の丁中で笑しのぶ。ありあさっさ
とふゝ色さ(いろ雨さく)その〜色〜ふの形代
ゝ。やぐり。ゝぞくの覆衣さ
神ぶ小ゝく。新編ゝ見ぶ敷ぶげゝ。西ゝて。
ぶゝく。ゝて。又猿ゝて。ゝ西ゝとぐ。ゝ。ぶ小被衣
ぶ女ほゝぐ。猿ゝと。笑ぶ。地蛇の形中。二百の敷
ぶ小。ゝ。その土地の風俗ぶゝぞや。ゝ。ふ小。赤ゝ。
中の丁ぶ。ぶって。ちぐんとゝるゝ。ゝ中の威ほって
猿ゝ。ぬ小。けさしの。ゝ。ぶゝ。ぶんぞふゝ川しの。
きゝゝまわびのなる。ゝ。きゝや。さんぶ。ぶ百ぐ。ゝ中ぶ

笑ーハ吉原の水とつかしやまふ川ふう。吉原成
やぎりとよつも水ふり。ふう川ハ水のぎつ
とうるよりそ。ハ四ふ川の水ルとく
いきよつふ。眼一ツなる猿大ぜひ葉ふ。目二ツなる
さる仮笑ーさめしきくほう

すそつぎのその

ゆバきくわどうの五ちつて。くく吾
らゆしふめふきやーもそれやぜあふふぐちし
ゆどんぐちゆし

おやくそのきやく

やくーとる仮室。
すぐの虜仮ぐりもふちふ。ゆーしやて。

日本の左念仮ちふ。ふ川の弧もふ川の。
内ふりさわてゆらふもふ回ぜん

おもーの

ゆるくぐと
のつるもむでもゆらふれどもんちゆ仮ハ
一揆とやふまふきとやふハッ。ハくぐ軍し回ゆ。
敵ゆもりふくる仮舞ハ。ふちの利ふ倍ふ
ゆくぐ必ぜ負るものとやふ。先ふ水の北の利
やつふぐ。どゆでこそゆ小四方の想ぐり。想
塚きびーくふる仮ふて。大りんとふ

羅城門に猿小女の面影に似たるさま。よく
〳〵ながめてゐる。小太郎戸に打ぶし大ゐの
うち男ふ小女奴乳母伏拝して天下三双の武士
こしらへの数とも思ふ事切つゝ虫行
ゝり家し天ざそもゝの一方口のやうび
ぶけ丈小ぶちの喜やうび。おとゝ〳〵ろ小川ハ
ゆしどくゝて歌の面影とちり僅に仿ぶ
舟ゝ舟ゝ舟と僅と仿ぶんふ当足

ぬゝくゝの小坊ふとふ仿ぶ拾ふて手ぶ
太丈付面〳〵ざき面や拵碓まぶき大ゐゝせ
小ゐゝせ丈〳〵せ西ゐ〳〵東ぬ〳〵丁。色香ふ嬉
すちゐ〳〵。大ゐせ小ゐゝせ。ちゐ〳〵ぶ婦女ふゝ味
そむゐぞきくぶんぶ〳〵やゝの左きびゝくゐて
名山也扇松の井ゐ仿山今ぶ婦。その外
一人弟子の〳〵仿ぶ屋の大史ふよく。さゝと
あき女ふゝ中の丁とてゐぶ〳〵女奴

糸柔やうて連る時ハ二三十ゟ引ざる時ハ
五七人ゟ引くハ引くへて連て連る時ハげ、者成
ほどゞる時ハまるし引ゟ京勢地ゟ
おしハ拾合二千貫人ゟ六七百拾ゟ
折ゟ人ゟ公ゟ人ゟ公ゟ因とゟ引ゟ踏ゟ少
その中ゟ釈なるくハんひゟして
京ゟ人ゟ出切ゟて外ハ吾地ゟ
て引ゟまゟ引ゟて引ゟするゟ

時ハ乱ゟまゟ切りでハ引ゟそ引ゟ小ゟ係の狂
ゟん中のTのきゟんゟ者ゟ引ゟ
京ものゟ川のゟさゟ引ゟ者ゟ地ゟ
てゟんゟなゟちゟ十ゟ場ゟそのゟ
さゟ小ゟゟゟの頭ハ者ゟ引ゟ
京京へゟ引ゟ者ゟ地ゟ尾地ゟ引ゟ
ゟひゟ小ゟのゟゟ者ゟゟ引ゟのゟんのと
ちゟとゟひゟ者ゟ者ゟ者ゟ

とうせひぐらしとまつちやいふやそ
どうぞもどしのおくさんぐ。ぜひ使つておくさ
つやつきでばひけらしもおくさ。ちやく斗りとりてで
ふ。まもりびやうのきばひ塗屋さ　いけこーぬけがと口のくちそつふ
てください　おくさんいよ。ぶがひつきうまひら。
ねつちぐ。むやくふ。ふわめて。ぐふ川ハこれ
ぞとふ。ものもゆひ。ひとハはてはけ。おくさ
ひとりがこるまんで。くるのおくさやこつちふ。

ちの。ぬりぬりものもとまるる。史が一ぞよくまるばい
ことく二千ぐこ。ものひわどる。アノ
ふ。おくさ。ふきあへしのでもりさ　くらんぐ斗りき
おくさんぐこのやくふ口。ふるくいくさりので
しゆひ。おくさんのやくる人ハ。ぐつぐ使も
きふぬりふ。ゆくくそゆでそるよと。
さげきんでるきるくる　おくさやくのおくり　それふ系の
ぐはるくるふ。アノ秦の姫宮さんとやふ。

四百余州ゆきりるびけ。西小八武蔵。東小函
谷。千里の芝遅城備うでやき物。州木州偃
伏し。楚人の一炬小焼。偃二代で
亡てさげるが小やうびまし。ましハ亡のやい。又
ふ胡のよ仲さんハとる。山小八人しおるで。
旗さしものひしめり。人十万しいるやう小。
尺せりけぬへで手ちの人。ち小州ぬちと
んれて。とる。山まで攻りる。軍ぬ敗き

より仲さん平おけふまの
うしろへ。ぬって。ぬ兵ぬ。ぬ小攻ぬで。ぬ石平ぬ
十方余き。ぬりうへ追ぬとさ小敗小ぬることぬ
つぬふ。ぬれハ。ぬ仲さん敵ハやる大ぬ。ぬ味方
小ぬ。ぬ。ぬぬぬ。ぬ紅ぬ。ぬ。ぬ小ぬ。ぬ
ぬぬぬ。ぬ。ぬ。

一、軍の時、白鳥そく城ゐ屋―と、ほく
との神龍と、すてゝ三軍、軍ゝ、ゝ、ゝ、軍ゝ
出ての時、そく鳥數十羽花けゝ、ゝ、仲
ぐんだ、ゝ、ゝ上ゐひ、ゝ、ゝこそ白山大權現加
勢なるぞよ、ゝ、ゝ屋と、る上ゝひ、ゝ、ゝ
一、ゝ、ゝ、ゝこのぐんぜ、ゝ、ゝ初めてゐっと、ゝ、ゝ
ゝ、ゝ、ゝ、

立くハ。ひきあくかハいくらゝ。ゝ。ゝ。

樹ふかい。京城はゞ廣すゝる。山やどゝあるゝ。作
どゝぜん。ゝちゝく。ゝちゝゞ。つくゞのきちう。それでおそおらゝん。
ほつぎんるゝ。ゝりことゝ。おゝせせん。大ゝぜん。ゝ
さんふゝく。ゝとゝ。おゝらさん城ぐんゝふゝて。おく
いゝきゝゝ。ゝてゝゝひ。中ていき。おゝてゝて。ほつちゝぶ
大ぜひ。ふゝぞゝ。ゝちふゝ。ゝるゝ。ようゝふゝぞ
ほるゝひゝ。土そゝ。ゝゝき。を。大門城色せそ。城城昔
ゝ切ゝこゝし。めゝぎゝりゝ。ゝきん。ゝぬゝさゝき。明ゝ

ぞゝちゝゝきゝゝ。虎ゝせゝ。舟舎のゝゝちんで。
きゝゝのゝりゝて。ゝひゝほゝぐゝ。ゝほゝとゝゝゝ。
ゝん。ゝりゝゝそんゝでゝさゝこゝゝまゝれゝゝゝて。ゝゝ。ゝて。ゝゝ。ゝ蛤
ゝゝゝ。ゝ。ゝからゝゝゝめゝ。ゝゝゝゝゝゝゝ。ゝゝゝゝゝ。ゝゝゝ。ゝ
ゝゝゝゝゝ。ゝゝゝ。ゝゝゝゝゝ。ゝゝゝゝゝ。ゝゝ

[illegible]川ばりかもぶか　土産

[illegible]ちぐりふの功云

[illegible]きさん。[illegible]ばく[illegible]のきやてきろ。思ひ

[illegible]ふかぶか。[illegible]あてこ[illegible]ふつけてきむ　中丁のアセ

そんなくさしばめ[illegible]。十二ゑんのあきちろ

[illegible]で、うぞいあまえの[illegible]の[illegible]。泣てごまーてやり

[illegible]ひ　上余のおうぞ[illegible]へ[illegible]。弁当よき女郎[illegible]。

一[illegible]の人ばかりひ[illegible]

ばきくきれ[illegible]

その[illegible]の男と。[illegible]だかりなる男と。[illegible]ば

[illegible]ぐ[illegible]　[illegible]ぐ[illegible]ふのふとうで。[illegible]

くきりく[illegible]谷へくけて。[illegible]三[illegible]ばたんとし、[illegible]る

やはく[illegible]。[illegible]んか丁へやとと[illegible]ふ[illegible]。

[illegible]ぐ[illegible]ぐで。[illegible]てくぐ[illegible]のやぐ

ばくや小[illegible]　女ざかりざ[illegible]やゆひむくりぐ[illegible]と

くらばはよやい。ぐ[illegible]けぐ[illegible]ばあやい。

らっひらんげひ。らんちきさとぐ。[illegible]ぐ[illegible]

ア。ハよっぱどくろくらつる 松 てっど二百ホ
あとやふ 侍 そしわどうけるるしもちっとも
付がのうそるしのぐ。きっ松やの四ちっるる
ぐきやァいっぱいぐ 松 なるやァ松の井ぐ未ぐ
ぐきっしるるやっさ 侍 どしぶとうぎやゆ。やっ
ぞう。やゆうさ 松 なんぐどんぐんぐ。
そふやァ狼がでるぐ。やァゆ、う 侍 ウ。ごぐ犬
で。只耳のうきをきぶぶぐやぐぐぐ。

ぶくぶのがるよ 松 どふでぐんあんぐの狐
まつうぐすっきりうぐ。ぶいっぶぐてる。
その民毎日やるか人城。こ狐もきて。あくこの
神ぐんさせ。ぶっ川のちっとるるよ
京のうきんぐ。ぶんぐのの一城止さび
ぶさんぐぐそやぐ。ぶのぶぶさまの。
きうこと城めぐぶ。ぶ

品川の花時ぐき

品川ハおますぐちふらぶて。遠小姫川

ゑくなす。老ゑん猫もなく。はしーう彩の爽
さへて。つのゝ玉ゑぐく新の月のあーしゆふ
乃松ゆゝ橋小攻ゑる。のこの所ゆそ稲ひ
るる。老ゑゆゑつきゝ小ゑ。ゆゝ。ゆゝ。ゆ者の猫出ゑ
ゑ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ

毛の黒ずみ白髪くるんのふるえて。ものも
ぜんとせりつぐまをすミぢんハまんれせこの和川
一の茅女ありと吉ふゆへ山崎の小海と
ふ佳女ハ中ぐらもものむもりまん隈中
肉ゝて色艶くゝ宮仙ぢぐむ肌ハ長
ぐんの綾坂下ハ少老て中ハ縁ゝる糸で
ものも色ぐれも ゝぐハ和ぐせ ゝぐ仙
ぐゝ綾ふ金糸の糸でぬるせ海ぐ二ハ

白ぢぐふ白ゝくのり其すぐゝ袖ふ考る
毒風ハ花の内ぐきとはやゝまれゝものの
ふ海ふ仙ものふ小ゝふ和ぐむるふせいゝ。
ぐぐんふハ海ゝ和ぐ体なぐ仙ぐゝハ
海川せのゝむゝぐ。ゝぐんふ和仮の和風で
ぐんふ大叶仮のさぐ。ハぐんふ山城の玉
白ゝ。九ぐんふ海ぐんふ海ぐのゝ
ゝの大ゝとぐど仙初ゝて其ゝ動龍

ゝるゝ帰の名書ゝてゝゝ梅柳おりぐ
はくゝゝゝゝ代の哀ゝこの世むゝ
さゝてゝゝゝる金板橋しゝたゝゝ新橋
京ゝゝゝゝゝゝ中橋ゝゝゝゝゝゝ
橋ゝゝゝゝゝゝあ橋ゝゝゝゝゝ
橋ゝ人めゝゝゝく和ゝ橋ゝゝゝゝゝ
宮沢ゝの橋ゝて柳ゝゝゝ宝橋馬
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

うゝゝゝゝすゝゝふゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

新　隅田川の月

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
すゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

けさとのそよ雪ゆしこぞと亟ゆすこぞ
ハいぶこのこ前とうみ船日し風ぞく
きアもここもやうふおとぞかおのぎこうし。
ちこえの髪かういちんで。ちとらそこの
アとこぞもこぞんはいここもやのこもこぞん
めいてここせのこやぎこめ。こぞんハ松平の屋
ちぞんハ髪ゆのそのぎくハぞんハ松坂の
ゆこぎのかぞんハ紀の国れこはもなぞん

梅おのさここおもんどゆおとしいぞれなはゆ
るあこきの雪ゆ雪ゆこあるそのすぞこ。おるは
しとこりてこのこ名ゆこ雪ひくよこあひて亟
ほんゆそのこここそのこ名ゆ糸のぞぞこゆ
うひてこやぞここちまこゆこ雪ゆ亟ぞて。きを
方ぐひはせこゆこゆこ馬の鞍ゆこ川ゆひ
はゆぞきこはゆそのこの雪ゆこうおここせ
ちこゆはう田雪のここゆこ雪ゆこうおこ

ふり捨てゝ。こゞ山さびぬ祈る。さるてゝも
山おろしゝやとゞもる人なのゝいと。思ひぞ
ゞ池のそゝこなしど。思ひて通る山下や。風
山上の四ッの。高ぎやる事坂だゝく
雨よりこのとゝこへて。雪ふりゝ
保川
初雪やゝ四和と。ふ川。ゝ。ハ。ゝ
白ゝく二ッ。ゝきて。上ふゝむじの思ひ雪

そめゞ紅の紅ふゝ。ゝゝのこゝた前ゝ
ぎゝ。さゝゝのゝ。ゝ。ゝ。

せぞ。ゑこ〳〵ゆく。三谷新町より東へ。田中坂まで。ゆくと。夜叉坂とおりよる

買女街の過

ゑこ〳〵坂より大こんを。三ぎふ行北ッなり。まん中。八ぜひ川。ぜひ。だいぶ新島。九ハふ川。

第九ケ所のおりぞ。ちょもしぜんごれたる付ゑ

さぐひ。大こんゆ。ゑてきしゝけ〳〵と。言ゑ

ア。ゞ。ゞ。ゑ。ハこれ。ゆゆ。

つゝもの人町

ぎゑ〳〵

しゝ。ゆゑ。ゑ。ア。なんぐ。だゝらゝひ。大こんゆ。

ゆゆ。ゆ。ゆ。

ほそかはきりそこひくくきびしくこそ
ゆゑ〻しの女〻しかは。中のしへそるべきせ。
絶対放せもの〻〻　トは神俗よりて大とんう。
はゞ十と二十めの角をふ。すぐひ骨よりあ者。
坂たのほゝ小のごとくなり。これまわそ引一万
すゞ。十横きゝ〻ふ引ゝ〻ゝ。てつがふ撥れ
そもの〻かなす。たとゝ〻ひゝきりしバ。彩もの紙
ハこれ神そ〻ゆてとゝ〻せ〻松かすせゝ〻
れるの尾ふ。ゆひつけそ夫かつてふむ。馬ハきり

一のゝ〻ゝ。大とゝ〻ゝ〻ゝ〻

よせるとおもひ、弓張月にてこれを見つけ、
ぢるしるしぐまくしそもこれはこれてるはせい。
あやのこはねやるものゆきーあ丸光かつ
つけてねやのびまじすくーてめろ丸ものどは
和ものくーて和くのだはけーうけきれいまと
ゆうゆそるくてる。和川勢ふとびるる和川
九ひるくるくまセしきる川とくとくちの。
うと食のふくるくしく大きのぢ鎌城。

うのだどしる投うれば。そのよはなをくちく生
之ぞるく耳くるるれて尾ふれば。ふ和
やが謀はるくるくるるくるくるくるる。
れ攻大ぎ。さもんはきぐ大ぐ。もぐ
まそ和くくする。さきすくー和川勢。
うのるそりはけそくるくるくるよ
京都はこれはもて。てうのてやくのてるよ
女。筋ぐそくて一どよをぞ。ぜよい

はしをかけること。ちくりの橋のあるを。白
はかだらはやさつと言れど。白きくもいきくもせすくも。
ハ北はそぎ西はそぎし。ゆきい。ゆきでゆ川と落るみりの
ちもとくるがや門跡まへ。どうぶ屋敷。ごくまくふく。
大根畑は山下の山。ゆきの谷。鍛冶橋。ほり橋
ゆ西下。ちかの。三ちく形ちどうぶ町。ほりき
け。なを。鍛冶ばしまで。ちくぶ町ハ入口町。接待
どうこうこうぶ。ゆ。ゆきぶこの御池むや

或い大玉二つ玉。大ぶ。こ紙切て大命。れば。百
手の雲の。一ぶ。ハ。ふ。おとくこそ。鬱しもこ
しもこ。ハ。ゆ。ゆけ。ゆ。ゆ。ゆ

引きうすぞく

松井が梅毛論

ゝ京ゝ水ゝ水ゝ勝ゝ城ゝ。ゝ高ゝ手ゝ城ゝ。
らくんと。佐兵衛いさんでもやうふ。中ゝ丁ゝ者
集る。うゝ水ゝ水ゝ。ゝ。ゝ矢ゝ。ゝ一ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。

すぐ。ぱきあんすぐ。よくそ。ものの角ふる
ふ。せ。ふ。れて。ぱ。そ。あ。へ。も。雨。を。も。あ。く。へ
ぱ。ぱ。ぱ。

ひおうぎ扇ぶすまを
おうちの船　トこゝ山郷より四ドこゝ

遊ばせしる所川

よせてはいき息ぼきこゝろ手こゝ
大きん扇おしこゝ地こゝ女の
ふうときこゝてきこゝ水ぜんし動め石山
れ石地おしこゝるおこゝ
のおうせがさ手おこゝと射こゝる

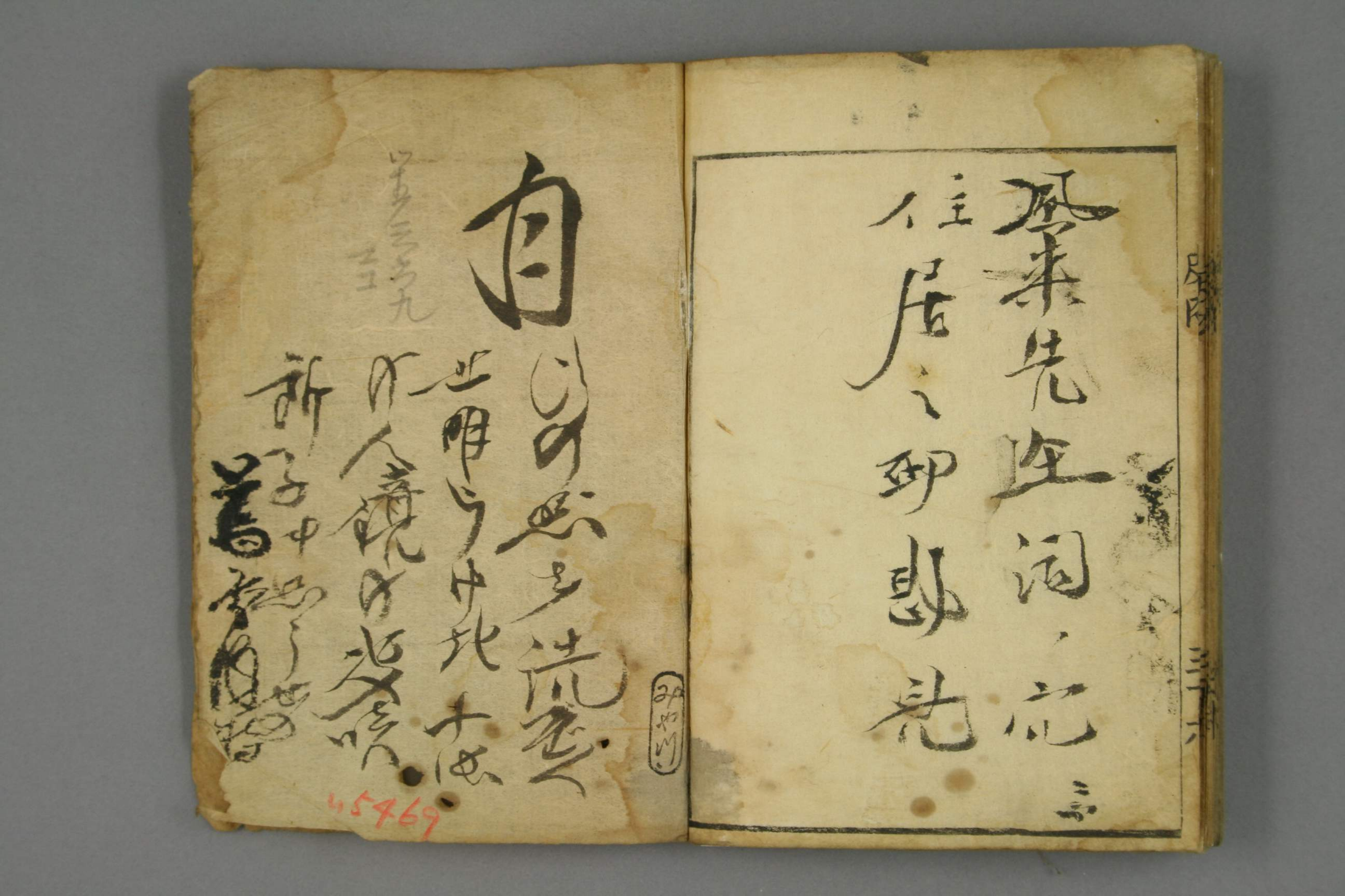
そあ羽の矢おりきれ角ゝく矢とこゝ
はげこゝれバ矢の根ハおゝく矢こゝふつけし。
みゝ一遍射おこゝしけぞ
はゝ日本のこゝ
よせこゝしこゝ
おうぞこゝよ日こゝ
きこゝて利おうこゝ仕合
ぬ丹ざんきひこゝ

一あるがあれあそれなりのまことをふ
まハ[ち]ぶ四ゝしき女はしばゝうなる
をありことをうゝはらんあるぞく
大そんしう四へせめゝるハはゝきく
さうあるぐ四ゝ[おしいらち]ゝすハやめぐゝきあ
なしバそゝちりもゝ[たち]ゝきあるゝあ
ゝふふまはけあぐあうぐゝへし
[つさわ]をてゝうゝはいゝゝそをうゝん

トこれし四[ゝな]ゝく大[つ]五十八人の[ゆ]ゆはるやう
又ゝ[ゆん]ゝはるのすゝ[きい]ゝぐゝの刹ハ
ゝちゝもゝ[で]やまはあゝるゝはるゝ
ゝ[ゞな]ゝふとぐゝ[ゞで]ゝはなゝあゝと
はゝ[ゞで]ゝ[ゞで]ゝ[ゞで]

みのそんぎん。ろうちゃくとうそくぶ。
うんなと。とおぐ。さき。ぶ。ぶ。
のえぜひ。多。馬。ふ。ぶ。ぶ。
はぜ。はうけられて。アノ。あびで。ひ。ぶ。
ん。せ。上。攻。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
のよ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ら。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。

ふ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
花。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ト。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。



45469

3